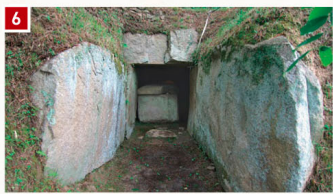
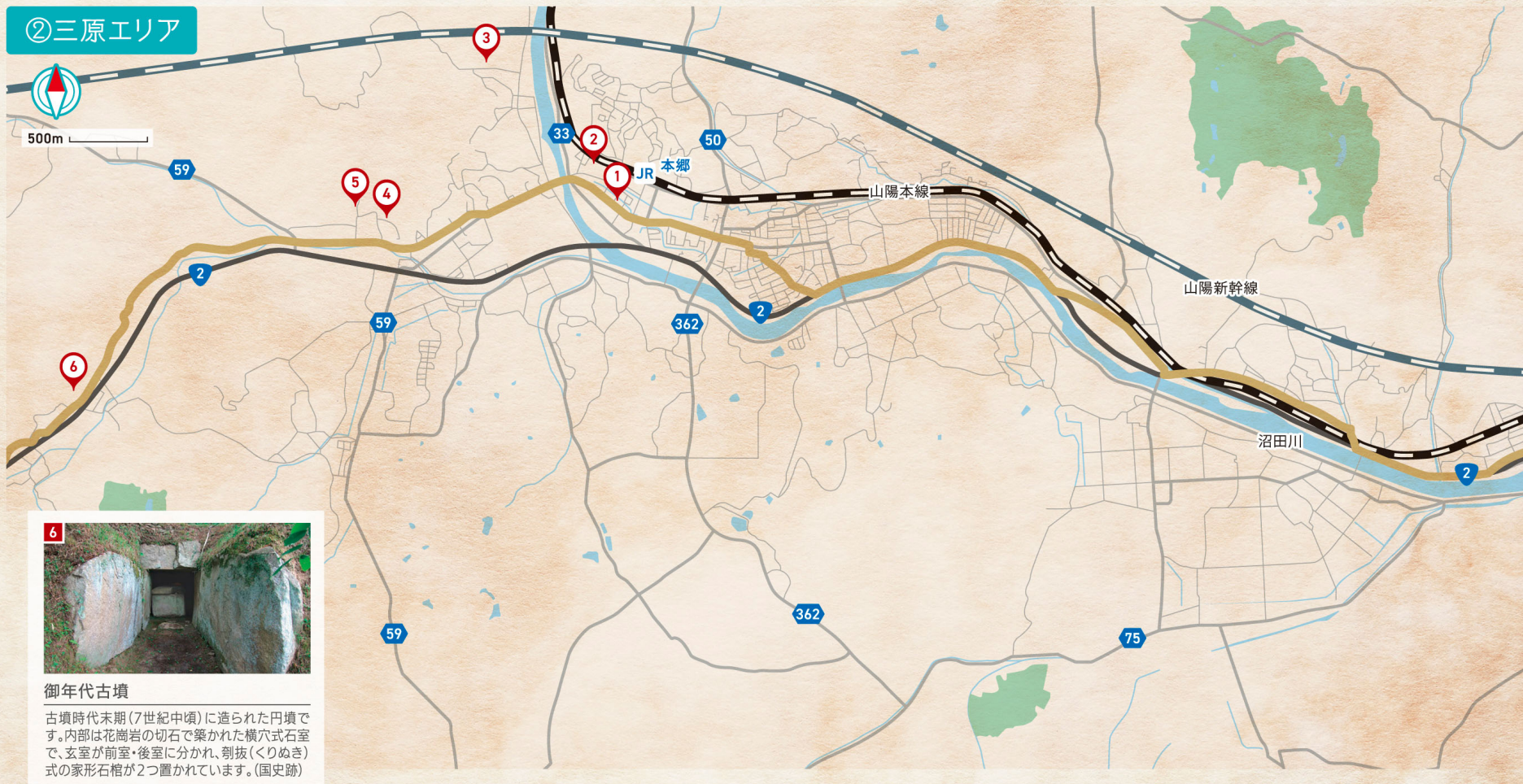


②三原エリア



御年代古墳

古墳時代末期(7世紀中頃)に造られた円墳です。内部は花崗岩の切石で築かれた横穴式石室で、玄室が前室・後室に分かれ、割抜(くりぬき)式の家形石棺が2つ置かれています。(国史跡)



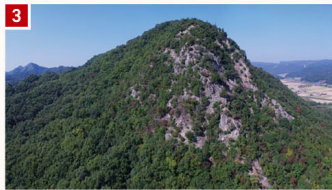
梅木平古墳

横穴式石室では県内で最大級の規模(全長13.25m・幅3.02m・高さ4.21m)を誇り、7世紀初頭前後の古墳と推定されます。(広島県史跡)



横見廃寺跡

昭和46年~48年までの発掘調査で、講堂跡、塔跡、回廊跡、北面築地跡などの遺構が見つかりました。寺の範囲は東西約100m、南北約80m前後と考えられます。(国史跡)



新高山城跡

小早川隆景により天文21年(1552年)、対岸の高山城から本拠地が移されました。本丸・釣井の段には石垣が見られ、井戸が6基現存します。(続日本100名城に選定、国史跡)



本郷生涯学習センター

2階の展示室では、本郷地域の文化財に関するパネルを展示しています。1階には続日本100名城のスタンプ(新高山城跡)を設置しています。



恵美須神社

商売の神様である恵比寿様を祀っています。鳥居には鯛の2枚合わせの扁額があり、鯛の形をした手水鉢があります。